

大粒な米づくり で、食味向上!

平成30年 夷隅地域水稻生育情報 第1報

平成30年5月23日
夷隅農業事務所
改良普及課
TEL 0470-82-2213
FAX 0470-82-3975

生育は全体的に早い、適期中干しで適正穂数に!

本年は、3月～4月の育苗期の高温条件により、平年と比較して苗の生育が早めに推移しました。また、低温による病害発生（ムレ苗）はほとんど見られず、一部地域で細菌病の発生が確認されましたが生育は概ね良好でした。今後も高温が続く見込みですので、適期中干しにより無効分げつの発生を抑えましょう。

表1 定点調査ほ場の生育状況（5月21日現在）

品種名	調査場所	田植え	平年比			中干しの目安
			葉齢の進み	草丈	茎数	
ふさおとめ	いすみ市島	4月13日	早い	やや長い	やや多い	6月上旬
ふさこがね	大多喜町下大多喜	4月20日	早い	長い	多い	6月上旬
コシヒカリ	いすみ市松丸	4月16日	早い	長い	多い	5月下旬

1. 【分げつが盛んな時期、ほ場ごとの生育に合わせて中干しを】

「大粒で食味の良い米を作る」、「乳白米等の無い高品質の米を作る」、「天候不順な年でも安定した収量を得る」ため、中干しを適期に実施しましょう。

中干しに入る茎数の目安

ふさおとめ：(60株/坪) 22～24本/株

ふさこがね：(60株/坪) 20～21本/株 (50株/坪) 23～24本/株

コシヒカリ：(60株/坪) 17～20本/株 (50株/坪) 21～24本/株

2. 【天候不順に強いイネを作るために】

以下に記載した肥料は、根の張りや茎を丈夫にする効果があります。6月上旬に追肥として適量を施用します。これらの資材は施用時に入水する必要はありません。

(1) 苦土過りん酸（根張りを良くして、登熟を向上させます）

施用量：20～40kg/10a

(2) けい酸加里（硬くて丈夫なイネになり、倒伏・病害等に強くなります）

施用量：30～40kg/10a

3. 【藻が多発しています】

今年は藻が発生しているほ場が多く見受けられます。藻類は水温20℃以上かつ富栄養化ほ場で発生が助長され、生育初期の苗を押し倒したり、肥料分の奪取が起こります。また、除草剤や肥料散布の妨げにもなるため多発ほ場では表3の薬剤を用いて防除を行いましょう。発生量が少なくても、条件が揃えば急激に増殖する恐れがありますので、発生初期に熊手などですくい取ることも有効です。



藻が発生したほ場

表3. 藻類に登録のある除草剤

薬剤名	使用時期/使用回数	使用料	使用方法
モゲトン粒剤	藻類の発生時/3回以内 (ただし、収穫の45日前まで)	2~3kg/10a	湛水散布又は無人 ヘリコプターによる散布

4. 【スクミリンゴガイの食害に注意、体系的な防除の実施を】

今年も一部地域でスクミリンゴガイによる食害が発生しています。被害の多いほ場では表2を参考に薬剤防除を実施しましょう。併せて、浅水管理や貝、卵塊の除去などを参考に耕種的防除、物理的防除を組み合わせる体系的防除を行って下さい。

表2 主な防除薬剤

薬剤名 (本田施用剤)	使用時期/使用回数	使用量	備考
スクミノン	収穫60日前まで/2回以内	1~4kg/10a	殺貝
スクミンベイト	発生時	2~4kg/10a	殺貝+食害防止
スクミハンター	収穫45日前まで/3回以内	1~2kg/10a	食害防止
パダン粒剤4	収穫30日前まで/6回以内	4kg/10a	食害防止

お知らせ

「水稻生育情報の入手には、迅速なFAXやEメールへの切替をお願いします！」

できるだけ迅速に情報提供を行うため、郵送からFAXもしくはEメールでの提供に切り替えていただくようお願いしています。切り替え可能な方は、右記連絡先までその旨お伝えください。

連絡先

夷隅農業事務所 改良普及課

担当者：伊奈、小川、西方

電話：0470-82-2213

FAX：0470-82-3975

E-mail：y.in6@pref.chiba.lg.jp

